



## 内容目次

- ・動脈硬化と脳梗塞



発行元 地方独立行政法人さんむ医療センター  
広報編集委員会  
<http://www.sanmu-mc.jp/>

## 動脈硬化と脳梗塞

悪玉コレステロールは、動脈の血管壁に脂肪のかたまりがこびりついて血行が悪くなり、血液が詰まりやすくなる状態が動脈硬化です。動脈硬化が原因の1つに脳梗塞があります。

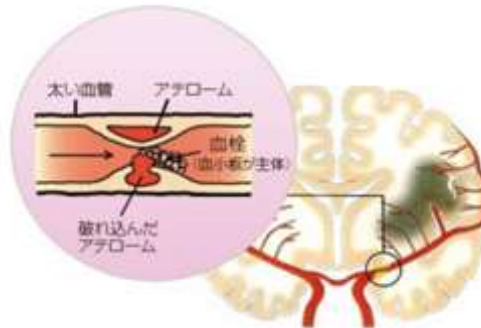
脳梗塞は、脳の血管が細くなったり、血管に血栓が詰まったりして、血流障害がおきて脳に酸素や栄養が送られなくなり、脳の細胞が障害を受ける病気です。

脳梗塞は詰まる血管の太さや詰まり方によって3つのタイプに分けられます。

### 1：アテローム血栓性梗塞

動脈硬化で狭くなった太い血管に血栓ができ、血管が詰まるタイプの脳梗塞です。

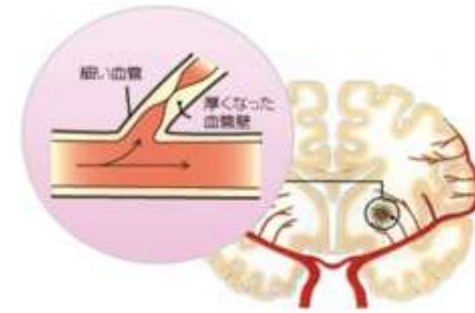
(頻度約30%)



### 2：ラクナ梗塞

脳に入った太い血管は、次第に細い血管へと分かれていきます。この細い血管に動脈硬化がおこり詰まるタイプです。

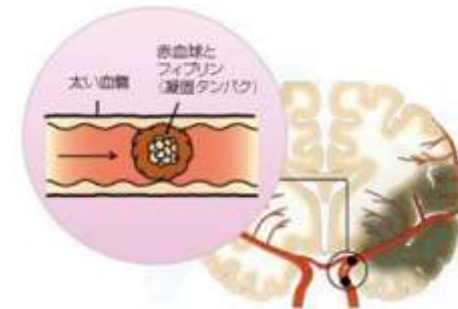
(頻度約30%)



### 3：心原性脳塞栓症

心臓にできた血栓が血流によって脳まで運ばれ、脳の太い血管を詰まらせるタイプです。原因として最も多いのは不整脈の1つである心房細動です。

(頻度約30%)



脳梗塞の原因に大きなものとして、動脈硬化がありますが、動脈硬化を促進させる病気には、高脂血症、高血圧、糖尿病、心房細動などの心臓病があります。これらの病気の原因に、喫煙、飲酒、肥満などがあります。動脈硬化には自覚症状がありません、健康診断で高脂血症や動脈硬化と診断されても放置してしまう人が多いです。脳梗塞を発症後、「寝たきり」になる人も少なくありませんので、食事・運動などの生活習慣の改善に努めましょう。

ご協力いただいた先生 脳神経外科 田中幹雄先生